

# Makita

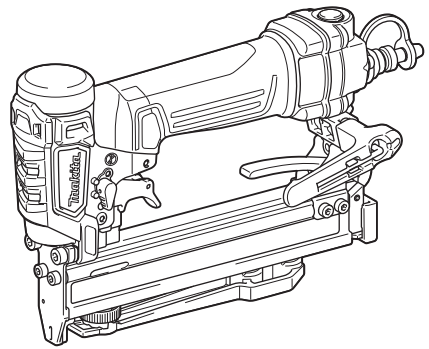
ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 高圧エアタツカ

4mmモデル AT425HB

10mmモデル AT1025HB



このたびは高圧エアタツカをお買い上げ  
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく  
お読みいただき本機の性能を十分ご理解  
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい  
ただいて、いつまでも安全  
に能率よくお使いくださる  
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお  
手元に大切に保管してくだ  
さい。






# 主要機能

主要機能	モデル	AT425HB/AT1025HB
使用空気圧力		1.18 ~ 2.26MPa (12 ~ 23kgf/cm <sup>2</sup> )
使用ステーブル (mm)		13、16、19、22、25
ステーブル装てん数		100本
質量		0.9kg
本機寸法		長さ 247mm × 幅 71mm × 高さ 152mm
使用ホース内径		マキタ高圧用ホース φ 4.0mm 以上

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

# 安全上のご注意

JPB218-1

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
  - ・ 本機の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
    - 疲れているとき、身体が不調なとき。
    - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステープル打ち作業をしてください。
  - ・ 装着しないと打ち損じのステープルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
  - ・ ステープルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステープル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
  - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
  - ・ 圧縮空気以外ガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は銘板に記載の範囲内で使用してください。
  - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
  - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
10. 必ず射出口を確実に材料に当ててトリガを引いてください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
11. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ 本機はトリガを引くだけでステープルが発射されます。誤って発射した場合に事故の原因になります。

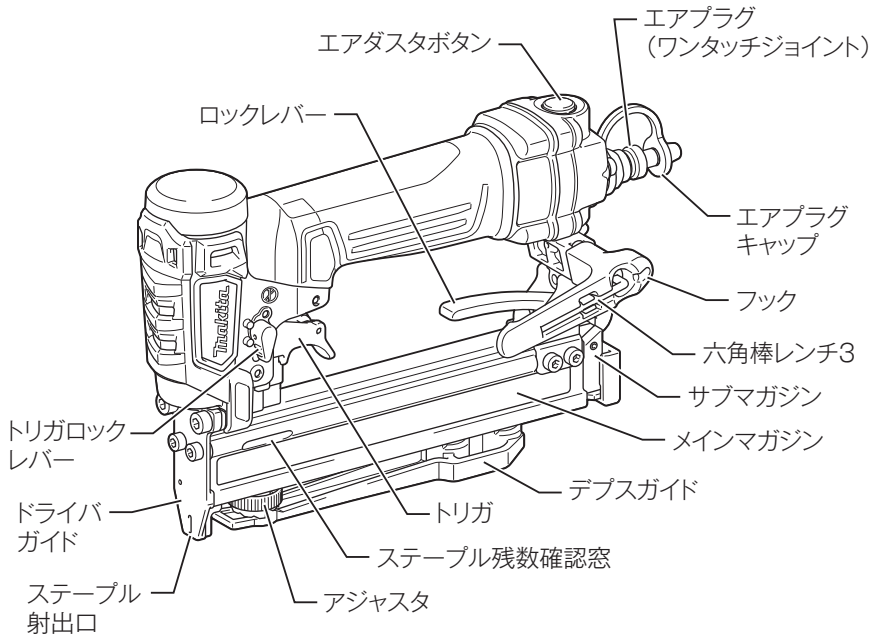
## 警告

12. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。
  - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
    - 修理する場合。
    - ステーブルを装填する場合、また取り出す場合。
    - 作業中、本機を持って移動する場合。
    - 点検整備をする場合。
    - その他事故が予想される場合。
13. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
  - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
14. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
  - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
15. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
  - ・ 打ち損じのステーブルなどがあたりけがをする原因となります。
16. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
  - ・ ステーブルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
17. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
  - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
  - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
  - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
  - ・ 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
  - ・ ステープルの上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
5. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
  - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
6. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
  - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
7. 本機およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
  - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
8. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
  - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
9. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

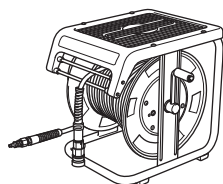
- ・ 油サシ (タービン油JIS2種 ISO VG32)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒レンチ3(本機取付)

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 高圧スリックホース（外径10mm×内径6mm）  
10m 巻 部品番号 A-46280  
15m 巻 部品番号 A-56552  
20m 巻 部品番号 A-46296  
30m 巻 部品番号 A-46305
- ・ 高圧スリックスリムホース（外径8mm×内径4mm）  
10m 巻 部品番号 A-51736  
15m 巻 部品番号 A-51742  
20m 巻 部品番号 A-51758
- ・ 高圧用エアホース（外径9mm×内径5.3mm）  
20m 巻 部品番号 A-41654  
30m 巻 部品番号 A-41660



- ・ 高圧タフリール（本体のみ）  
部品番号 A-49242
- ・ 高圧タフリール30M  
部品番号 A-49220

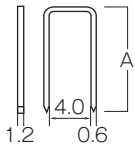


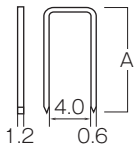
- ・ スプレーオイル  
部品番号 A-46121



## 別販売品のご紹介

### ・ ステープル

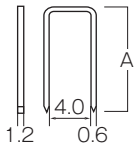
種類	ステープル (幅 4mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80024	F-80037	F-80040	F-80053	F-80066
型式	413J	416J	419J	422J	425J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425HB				

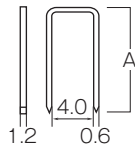
種類	ステープル (幅 4mm)			
材質	鉄 (白)			
形状				
A (長さ mm)	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80079	F-80082	F-80095	F-80101
型式	416J 白	419J 白	422J 白	425J 白
連結本数 (本)	100			
1 ケース入数 (本)	5,000			
適用モデル	AT425HB			

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。



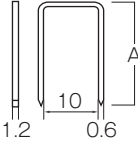
## 別販売品のご紹介

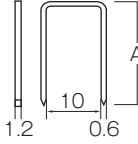
種類	ステープル (幅 4mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80442	F-80114	F-80127	F-80130	F-80143
型式	413JS	416JS	419JS	422JS	425JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425HB				

種類	ステープル (幅 4mm)		
材質	ステンレス (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80156	F-80169	F-80172
型式	419JS 白	422JS 白	425JS 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT425HB		

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

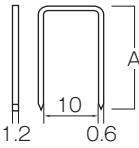
## 別販売品のご紹介

種類	ステープル (幅 10mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80262	F-80275	F-80288	F-80291	F-80307
型式	1013J	1016J	1019J	1022J	1025J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025HB				

種類	ステープル (幅 10mm)		
材質	鉄 (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80455	F-80468	F-80471
型式	1019J 白	1022J 白	1025J 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT1025HB		

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

## 別販売品のご紹介

種類	ステープル (幅 10mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80310	F-80323	F-80336	F-80349	F-80352
型式	1013JS	1016JS	1019JS	1022JS	1025JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025HB				

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。


# 使い方

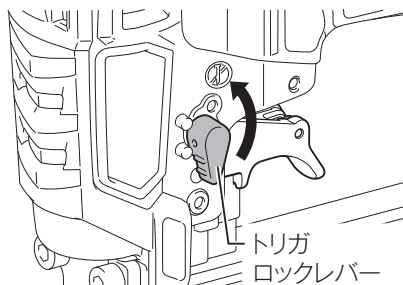
## トリガロック装置について

### ⚠ 警告

ステープルを打つとき以外は、必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

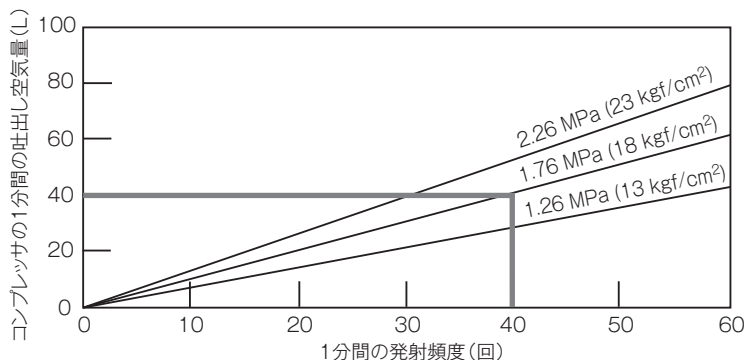
- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 本機はトリガロック装置を装備しています。トリガロックレバーを  の位置にすることで、トリガをロックできます。このときトリガロックレバーが確実にセットされていることを確認してください。



## コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される場合はグラフを参考にしてください。
- ・ グラフは本機の発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が1.76MPa (18kgf/cm<sup>2</sup>) で発射頻度が1分間に約40回の場合、吐出し空気量40L/min以上のコンプレッサが必要です。



## 使い方

### エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短いものを使用してください。
- ※内径φ 4mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用することを目安に選定してください。

### 注

- ・ ステーplの発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長過ぎる場合は、打ち込み力が低下します。

### コンプレッサ・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンク内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱（60℃以上）、薬品（シンナー、強酸、強アルカリなど）および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

# 使い方

## ステーブルの装てん

### ⚠ 警告

ステーブルを装てんする場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

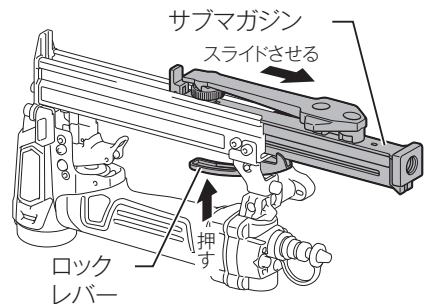
- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

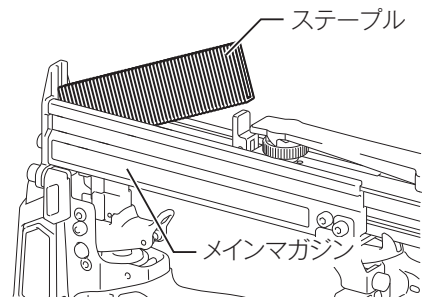
ステーブルを装てんした状態でサブマガジンを不用意に開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステーブルが落下すると事故の原因になります。

1. ロックレバーを押してサブマガジンをスライドさせます。



2. ステーブルの足を上にして、メインマガジンに入れます。
3. サブマガジンを元に戻し、ロックレバーでロックします。



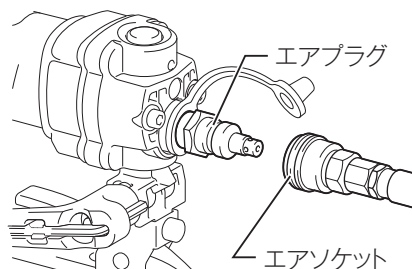
### 注

- ・ 指定以外のステーブルを使用しないでください。ステーブルやステーブルの連結が変形したものは使用しないでください。マガジン内に異なるサイズのステーブルを同時に装てんしないでください。
- ・ ステーブル詰まり、故障の原因になります。

# 使い方

## エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットをしっかりと差し込んでください。



## 注

- ・ エアソケットをエアプラグにしっかりと差し込んでいないと、不意にはずれて事故の原因になります。

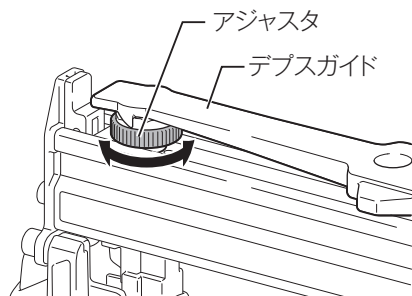
## デプスガイドによる打ち込み深さ調整について

### ⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ アジャスタを回転させると、デプスガイドの高さが5段階に変わりますので、ステープルの打ち込み具合をワンタッチで調整できます。1段階で約0.6mmの調整が行えます。



## 空打ち防止機構について

- ・ 本機には空打ち防止機構が装備されています。マガジン内のステープルが無くなると空打ち防止機構が作動して、トリガを引いても打てなくなります。

続けてお使いになる場合はステープルを補充してください。

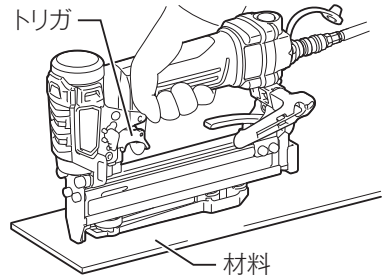
# 使い方

## ステープルの打ち込み方

### ⚠ 警告

本機はトリガを引くだけでステープルが発射されます。ステープルを打つとき以外は、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
- ・ 射出口を確実に材料に当ててからトリガを引きます。

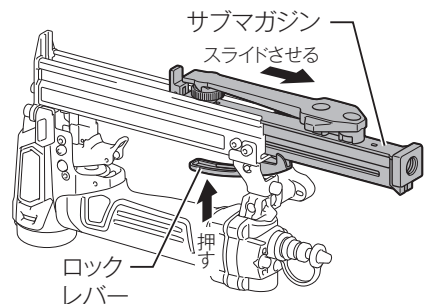


## ステープル詰まりの直し方

### ⚠ 警告

作業に入る前に必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。
1. ロックレバーを押してサブマガジンをスライドさせます。
  2. 射出口が露出しますので、詰まったステープルを取り除きます。





# 使い方

## フックについて

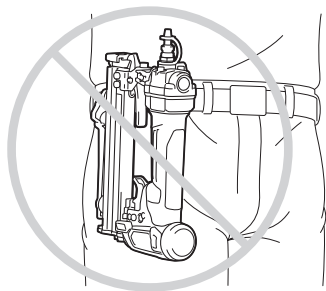
### ⚠ 警告

フックを使用する場合は必ずトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにはけないでください。

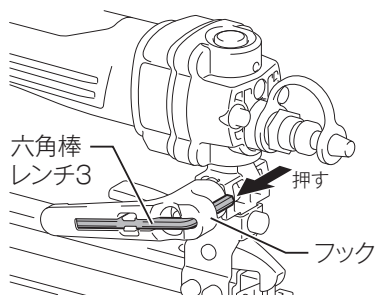
- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、事故の原因になります。



フックの取り付けネジは、確実に締め付けてください。

- ・ フックがはずれて本機が落下したり、事故の原因になります。

- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。本機に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。
- ・ 位置を変えるときは、付属の六角棒レンチ3でボルトをはずし、フックの取り付け位置を変え、ボルトでしっかり取り付けてください。
- ・ 六角棒レンチ3は短い方の先端を押し、フックからはずしてください。



# 使い方

## エアダスタの使い方

### ⚠ 警告

エアダスタを使用する場合は必ずトリガをロックしてください。

エアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を吹出口付近に近づけたりしないでください。

- ・ 誤って吹き出した場合、事故の原因になります。

近くに人がいないことを確認してから使用してください。

- ・ 吹き飛ばしたホコリや木屑などがあたり、けがをする原因になります。

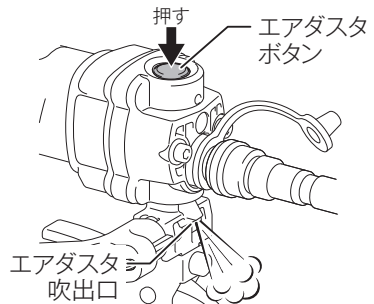
エアダスタボタンを押したまま、エアホースをつないだり、はずしたりしないでください。

エアダスタを使用すると一時的に打ち込み力が低下する場合があります。

エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。

注油直後にエアダスタを使用すると、オイルがエアダスタ吹出口より霧状に飛び散る場合があります。油がかかっても支障のない所で試してから作業してください。

- ・ エアダスタを使用すれば、ホコリや木屑を吹き飛ばすことができます。



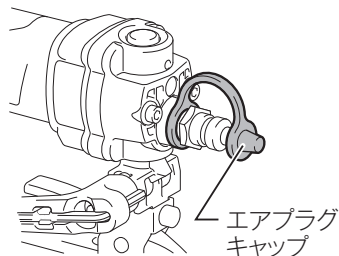
## ⚠ 警告

点検・整備の際は、必ず本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

## 作業後の保管

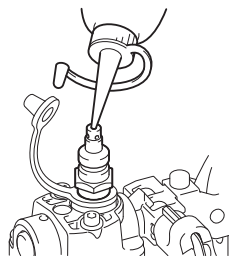
- ・ 本機内にごみやホコリなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときには、トリガをロックし、エアホースをはずして、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。



- ・ 作業後は防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回発射してください。
- ・ 湿気が多い所、直射日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。

## 純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。  
作業終了後、本機に付属している油サシ（タービン油 JIS2 種 ISO VG32）で 2～3 滴エアプラグより注油してください。
- ・ 指定外のオイルを使用すると、故障の原因になります。



## 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布できれいに拭いてください。

## 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

## ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882771-9  
NNP

**株式会社マキタ**

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)